

香友会だより

ごあいさつ



同窓会会長
谷本 智昭

香友会の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より香友会並びに母校のためにご理解とご尽力を賜り心からお礼申し上げます。

さて、母校は全面的な改築工事で、第二期工事を一部残すものの新校舎が完成しています。訪れて思うのは校舎建築に当たり、生徒の学校生活を最優先に考えた教室配置など、教育環境に配慮した校舎となっていることです。会員の皆様もお近くにお越しの際はお立ち寄りください。

今年になって会長として学校行事に出席したのは、2月28日の同窓会入会式が最初でした。毎年、入会式の前に第3回目の部活動報奨金支給式を行っています。近年は、生徒諸君がよく頑張り、素晴らしい成績を残してくれましたので、対象者も多くなりました。

平成28年度は、バレーボール部女

子が総体・新人・選手権大会でそれぞれ優勝、ソフトボール部女子、相撲部、水球部が総体・新人の各大会で優勝など大活躍でした。また、ハンドボール部男女、剣道部男女、バスケ部女子、テニス部女子、サッカー部なども上位入賞しています。

そのほか、国民体育大会代表選手に選出された生徒も多数いました。文化部でも、日本学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技会で個人優秀賞2人、団体で上位入賞、書道部は全国高校書道展で特選など頑張っています。こうした成績に至るには、選手諸君の厳しい練習はもとより指導者のご苦勞があつたことです。先生方に敬意を表したいと思います。

支給式では、先輩たちも皆さんの活躍を応援しているので、これから頑張るよう激励しています。この後同窓会入会式があり、今回は297名を新会員として迎えました。

続いて3月1日は卒業式に出席。午前10時から高等学校の卒業式と午後1時から専攻科看護科の修了式が挙行されました。

香川県教育委員会からは、西原義一教育長(現副知事)様のご臨席を



発行者

香川県立高松南高等学校
同窓会会長 谷本智昭
香川県高松市宮町531
印刷所 (株)中央印刷所

ごあいさつ



校長
梶 正司

香友会の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

ます。日頃より、本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

先日、昭和17年から28年まで本校の美術の教員として勤められた故川田保一先生のご家族のご厚意により、先生が生前お描きになられた油絵「ガンジス河の沐浴」という作品の寄贈がありました。先生は、昭和24年に設置されました香川高校の校章をデザインされた方でもあります。

「香友会だより」の題字の下には7つの校章が掲載されていますが、まず右列一番上が明治44年に創立された本校の起源であります香川郡立香川実業学校の校章、その下が香川実業学校のもので、大正11年に改定されたもの、続いて大正11年県に移管された香川県立香川農業学校のもの、右列一番下が香川農業学校のもので、昭和9年に改定されたもの、そして左列一番上が、昭和23年に一年間だけ設置された香川県立香川農業高等学校のもので、左列の二番目が昭和24年に設置された香川高校のもので、この校章は、現在、高松南高校の校旗を飾る校章であり、校舎本館に掲げられた校章でもありま

す。では左列一番下の校章は何でしょう。実は昭和24年香川高校設置の年、校章とあわせて、現在も女子生徒の胸に白く光る丸い胸章も定められました。一番下のものは、この女子生徒の胸章の中に見られるデザインであることが分かります。なぜ校章と胸章のデザインを微妙に変えられたのかなど、直接、川田先生にお会いして当時の思いなどを聞きました。たのですが、残念ながら、先生は既に他界されており、今となっては知る由もありません。しかし三つの菱をデザインした本校の校章には意味があり、三つの菱はそれぞれ、香川高校に設置された三学科、普通科、農業科、家庭科であり、同時に学問、道徳、芸術の最高目標である「真・善・美」を表したとの記録が残っています。本校は、この校章に秘められた思いを目標とし、高邁な理想の実現に向けて努力しなければならぬと改めて感じております。

最後になりますが、本校の活躍は新聞等でご覧になれる先輩方も多いことと存じますが、昨年度は26年ぶりに春高バレー全国大会に出場した女子バレー部をはじめ南高運動部大活躍の一年でした。今年もいよいよ始まりです。総合体育大会では、昨年以上の成績を挙げるべく、生徒、教職員が一丸となって南高の校旗校章を頂点に掲げることを目指して頑張る決意ですので、引き続き変わらぬご支援をお願い申し上げます。

南高百景

北体育館



「南高百景」も4回目となります。今回のテーマは「北体育館」です。正門を入って右側に北体育館があります。通称「北体（きたたい）」と呼ばれています。この北体育館は昭和四十八年三月竣工となっています。「六十年史」を見たところ、その当時体育館は南校地に1つあっただけであり、生徒数のことから新しい体育館が望まれていたと思われます。当時この大きくて堂々とした体育館はまさに最先端の施設として大いに活用されたことでしょう。

現在も北体育館は体育の授業や部活動の練習（主に卓球、バドミントン、男子バスケットボール、ハンドボール、チア、ダンスなどの各部が使用）で活躍していますが、もう1つの顔を持っています。それは「学校行事のメイン会場」ということです。校内での主要な学校行事はほとんどこの北体育館で行われます。卒業式や入学式はもちろん、始業式・終業式・戴帽式などの式典、文化祭などの各種イベント、生徒総会や全校集会などにも用いられます。現在の感覚で見ると若干ステージが小さいですが、当時としては機能性を重視したのではないかと思います。しかし南体育館にはステージがないので、学校行事が南体育館で行われることはほとんどなく、まさに北体育館なしには学校行事が立ち行かないといっても過言ではないほどの大切な場所となっています。

個人的なことになりますが、南高も百周年を期に校舎・各施設がどんな改築され、すっかりと様相が変わり、私が高校生の頃からのなじみあるオリジナルの建物といえ第二校舎とこの北体育館だけとなりました（私は普通科卒なので専門学科の施設は他にも存在すると思われます）。いずれ第二校舎もなくなる可能性があるがあるので、ますますこの北体育館が大切に思えてきます。

現在北体育館の前面は百周年記念庭園として整備され、記念モニュメントや卒業記念品の花時計もあり、優美な空間となっています。そして体育館に入るといつもの風景が広がります。



ります。この北体育館に入ったことのない人はいないでしょうし、卒業式も必ずここで行われます。ですから卒業生のみなさんには心象風景の1つとして残っているのではないのでしょうか。ところどころ古くなった壁や雨漏りの跡なども見られますが、かえって歴史を感じます。竣工から約四十五年ほど経ちますが、まだまだ頑張っていたのだと思います。長い間すべての南高生を見てきたこの北体育館は南高の父親的存在だと私は思います。これからも北体育館は南高の歴史を見守り続けてくれることでしょう。

香友会事務局 亀田 直樹



支部だより

〈関西支部だより〉

関西支部長 太田 喬

人は一人で生きているのではない。

人は支え合って生きている。自分さ

えなければいいというものではない。

それは思いやり、すなわち人との絆

です。その絆は年を重ねるごとに生

きていくために必要なものと痛感し

ます。同窓会は絆を強めるひとつの

会話の広場でもあるように思います。

隔年に開催している香友会関西支

部の第16回総会・懇談会を今秋に大

阪・道頓堀の会場で催します。関西



在住の皆様には案内状を差し上げますが、ぜひ若い同窓生も誘い合わせで振るって参加して下さい。

日時 平成29年10月15日(日)
午前 11時開会
場所 道頓堀ホテル
(大阪市中央区道頓堀2丁目3-15)

当日の総会には、高松から香友会本部の谷本会長をはじめ、母校の多数の先生たちが出席の予定です。本校の移り変わる様子や近況などの話が聞けると幸いです。

総会では、事業、会計報告や役員改選などの案件を審議。引き続いて、にぎやかに懇親会。高齢になつてい

るビンゴゲームなどを盛り込んだ楽しい演出を色々企画しております。

総会は、同期会、同級会、部活動の同窓会でもあり、思ひ出をつづる交流の集いです。改めて連帯感と次へ活力にしたいものです。

〈一宮支部だより〉

一宮支部長 森 卓志

私は、香川高校(現高松南高校)を卒業し、63年が経過しております。

今でも、親しい同級生とよく集まり、食事やカラオケで楽しい時間を過ごしております。

その際、話題になるのは、高校時代の思い出話、先輩の部活における活躍の話題や盛り上がりです。

今年の野球部は、良い投手がいるから、期待できる。相撲部や女子ソフトボール部は優勝できそう。サッカー部も強そうなので、良い位置まで行けそう等の話題で盛り上がります。

一宮支部も昨年度から、各町に副支部長体制を敷き、各自治会に役員

を置き、会の運営を推進しております。

昨年度は、7月2日の香友会理事

会開催直後の7月16日に、一宮コミュニティーセンターの会議室で、9時半より副支部長会を開催、顧問4名も同席していただきました。引き続き10時より、多自治会の役員・顧問会合わせ30名余で、役員会を開催しました。

新体制になって、最初ということもあって、顔合わせと、体制の説明、会費の回収・副支部長への納入、副支部長から経理担当への会費納入について打ち合わせを行いました。

役員会終了後は、懇親を深めることと、近頃のファミリーレストランで会食を行い、高校時代の話題や母

会

を置き、会の運営を推進しております。

昨年度は、7月2日の香友会理事

会開催直後の7月16日に、一宮コミュニティーセンターの会議室で、9時半より副支部長会を開催、顧問4名も同席していただきました。引き続き10時より、多自治会の役員・顧問会合わせ30名余で、役員会を開催しました。

新体制になって、最初ということもあって、顔合わせと、体制の説明、会費の回収・副支部長への納入、副支部長から経理担当への会費納入について打ち合わせを行いました。

役員会終了後は、懇親を深めることと、近頃のファミリーレストランで会食を行い、高校時代の話題や母

会員各位

一宮支部長 森 卓志

高松南高等学校同窓会一宮支部総会ご案内

向暑の候、会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

標題の同窓会一宮支部総会を下記のとおり開催します。

会員多数お誘い合わせの上ご参会下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 日時 平成29年8月6日(日) 9:00～
2. 場所 田村神社会館(一宮町)
3. 内容
 1. 開 会
 2. 支部長あいさつ
 3. 来賓祝辞
 4. 議 事
 - ・会務報告
 - ・決算承認の件
 - ・予算書承認の件
 5. 閉 会

高松南高等学校同窓会
国分寺支部総会ご案内

1. 日時 平成29年8月6日(日) 9:00～
2. 場所 田村神社会館(一宮町)

校の各部の活躍が、話を盛り上げていました。

昨年8月には、大先輩であり、香友会一宮支部に、尽力いただきました廣瀬和孝顧問が死去されました。

廣瀬さんとは、一宮郷土振興協会

で平成25年頃から、第三次一宮郷土誌(現代編)を出版するための企画・編集製作費の収集計画等で懇談を重ねてきました。

本誌出版に当たっては、大半を廣瀬さんが企画・編集を推進されてま

した。香友会一宮支部の方々に執筆に協力いただきました。

完成パーティーを開いた直後にお亡くなりになりました。

廣瀬さんのご逝去に際し、ご冥福をお祈り申し上げます。

卒業生リレー寄稿 ⑬

「生涯現役を目指して」



昭和52年3月
専攻科衛生看護科卒
香川大学医学部附属病院
看護部長
豊嶋 克美

私は、昭和52年3月に専攻科衛生看護科を卒業し、看護職を続けてまいりました。卒業後は、愛媛大学医学部附属病院に勤務し、昭和58年10月から香川医科大学附属病院に転勤し、現在、香川大学医学部附属病院に勤務しております。

専攻科卒業後は、キャリアアップとして、30歳代で香川大学法学部に入学し、仕事と勉学と育児の3足のわらじ生活を送り、50歳代で、香川大学大学院医学系研究科看護学専攻科において自己研鑽に努め、晴れて看護学修士を修得しました。今、振り返ると、専攻科時代に看護学の基礎を学び、当時の先生方から看護の真髄を教授され、看護のエビデンスを知りたいと考える機会を与えられたおかげで、看護職を継続できたと思います。

そして、平成29年度、香川大学医学部附属病院の看護部長を拝命致しました。医療の有り様は、新しい医

療政策が矢継ぎ早に具体化され、2018年度診療報酬ダブル改訂が待ち受ける変革の過渡期に、看護部長の命を受け、身が引き締まる思いでいっぱいです。

私の看護部長としての使命は、政策の変化を感じし、先々を見据えた取り組みを責務と捉え、①看護の質向上を図る②病院経営に貢献することです。診療報酬で評価される「看護の力」を発揮できる環境を整備し、地域の人々のニーズに応え、質の高い看護を提供すると共に収益確保に貢献したいと考えています。

また、平成29年度93名の看護職員が入職し、看護部は716名の大所帯となりました。看護の質向上を図るためには、3つのH(Head・Heart・Hand)・豊かな看護の知識に支えられた冷静な判断、Heart・豊かな感性に育まれた人間への愛)を統合し根拠ある看護実践を行える自律した看護職員を育成することだと思います。一人ひとりの看護職員が、いきいきと輝いて看護すること、それが当院に求められた患者さん、そのご家族の方々等に満足して頂ける基本だと考えています。

どうぞ、ご指導ご支援を頂きます

よう、よろしく願い申し上げます。

「南高校で培ったもの」



平成24年3月
環境科学科卒
藤井 悠平

私は平成24年3月に高松南高校の環境科学科を卒業して、現在は高松市内の建築会社で現場監督として働いています。小学校の頃から父の造園事業の仕事将来は受け継ぎ、四国を中心とする造園事業を経営したいと志して環境科学科土木科へ入学しました。三年間の学校生活の中で測量実習や力学を学び建築に関する沢山の事を学びました。建築業と造園業は関連のある事業となるため、私は将来建築・不動産等の事業を立ち上げ父の造園事業と協力できるような方針に決めました。

建築士になるという目標を達成させるために京都の専門学校へ受験合格の為先生と共に受験時の面接や試験の受け方など熱心に相談してくださいました。

香川から京都へ移住して一人暮らしを始める時は不安でいっぱいでした

たが、先生から「藤井君なら大丈夫！」と後押しして頂き、自信をもって受験に挑み無事合格することが出来ました。先生方が熱心にアドバイスを頂いたので自分の目標達成をすることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。またクラスの友達も進学する為に互いに励まし合い切磋琢磨できる環境があったので合格したのだと思います。

専門学校に入学してからは慣れない一人暮らしの生活が始まり、入学してから毎日二級建築士の勉強を行いました。実習と学科を踏まえての勉強、辛いこともたくさんありましたが南高校の水球部に入学してから年間の練習を乗り越えた経験思い出して大変な日々でも乗り越えることが出来ました。

水球部では3年次にキャプテンになりチームメイトを引っ張りまとめる力を培うことができた、現場監督として多くの職人さんをもっと指導をとる仕事に活かされていると実感しています。環境科学科での測量実習も測距の機械を実習でできるまで何度も教えて頂き、その経験が今建築の現場でも実践的なスキルとして役立っています。南高校での体験があるからこそ、専門学校でも二級建築士の試験勉強を乗り越えることができた無事に合格することが出来ました。現場監督の仕事は外での仕事でもあり冬の寒さ・夏の暑さにも負けず現場の指揮を誘導しなければなら

仕事ですがリーダーシップを生かしながら香川の街に自分が携わった建物が建つことのやりがい言葉にできないほどうれしいです。職人さんをまとめながらチームとして大きなプロジェクトを完遂していく仕事ができとても幸せです。高校を卒業して新たなスタートを切る生徒の方はたくさんいらっしゃると思いますが南高校で学んだことを自信をもって進んでください。

「高校時代を振り返って」



平成25年3月
普通科卒
菅 千晶

私は高松南高校普通科を卒業して、県外の大学に進学しました。大学では児童教育を学び、今年の4月より高松市の保育教育士として市内の保育所で働いています。0歳児クラスの担当となり、泣いている子どもたちをあやすために抱っこをしたり、オムツを替えたりと想像以上に毎日がハードで体力勝負な面があります。

しかし、子どもたちの笑顔を見ると幸せな気持ちになり、疲れも吹きとびます。大変なこともあります。先輩の先生方にご指導いただきながら、日々がんばっています。高校時代を振り返ってみると、い

いろいろなことが思い出されます。学校行事では修学旅行や体育祭、そして学科ごとの特色あふれた文化祭が印象的です。また全校一斉漢字テストで三年間満点を目指して勉強したことも思い出されます。それがきっかけで漢字に興味を持ち、大学時代に日本漢字能力検定を受験することに繋がりました。

部活動はハンドボール部に所属していました。練習が厳しくつらいときもありましたが、顧問の先生や先輩に励まされ、後輩たちに支えてもらったおかげで最後までやり遂げることができました。部活動のおかげで体力がつき、精神力も鍛えられたと思います。

また、友だちと過ごす休み時間やお弁当を食べながらおしゃべりをする時間はとても楽しく、私にとって大切な時間でした。受験勉強は大変でしたが、同じ目標に向かう友達と励まし合い、最後までがんばることができました。また面接練習や小論文の添削をしてくださり、応援してくださいました。先生方には今でも心から感謝しています。良き友人と信頼できる先生方に囲まれて、充実した高校生活だったとあらためて感じています。

私は社会人としてスタートしたばかりです。これからは社会人としての責任感と向上心を忘れず、南高で学んだことを生かし、保育教育士として成長すべく頑張っていきたいです。

思います。

「介護を学ぶきっかけ」

平成26年3月

福祉科卒



毛利 礼奈

私は福祉科の3期生として卒業し、現在は介護福祉士として多機能ケアホームで働いています。

小さい頃、一緒に遊んだり私のために置物や人形を作ってくれる曾祖母が大好きでした。そんな曾祖母が年々歳を重ね、転倒したり私の名前を間違えるようになり、曾祖母のために介護に関する知識を学びたいと思い、高松南高校の福祉科に進学を決めました。

福祉科では想像以上にハードな授業や実習内容でした。実技テストは厳しい助言を受けることもありましたが、順調に合格していました。しかし実際に施設へ実習へ行き、利用者様を相手にすると学校で習った通りにはいきませんでした。自分の無力さに絶望し介護は不向きなのかもしれない。と感じるようになりました。実技だけではなくコミュニケーションを上手に取ることも難しく、先生や友人、施設の職員の方々に多くのアドバイスを頂き絶対立派な介護福祉士になろうと思いました。いつの間にか、曾祖母のためだけでは

なくお年寄りの方々の力になりたいと思うようになり卒業後、介護施設で働きました。

就職して一年目の夏に、曾祖母が入院し休みのたび一人でお見舞いに行っていました。徐々に弱っていく曾祖母を見て「早く元気になってね。」と何度も声をかけました。しかしその秋に帰らぬ人となり私は何のためか介護をしているのか分からなくなりました。そんな時に先生や友人からの言葉を思い出したり、職場の利用者様と関わっていると心も落ち着き、やっぱりお年寄りが好きでこの仕事を続けようと思いました。

人それぞれ性格が違うように、一人ひとり関わりが難しく、上手いかない時もありますが、介護に正解はない、答えは一つではない。という先生の言葉を励みに、たくさんご利用者様の身の回りのサポートをさせて頂き、笑顔にできるように日々成長していきたいです。

「南高校で得たもの」

平成28年3月

生活デザイン科卒



三浦 杏奈

私は平成28年3月に高松南高校の生活デザイン科を卒業しました。現在は県外の四年制の大学の児童学科

に所属し、幼稚園教諭を目指して保育に関する知識を深めています。

子どもが好きで、子どもに関わる仕事がいい、と思い、生活デザイン科の保育子ども文化コースに進みました。私はそこで、たくさんものを得ました。日々の授業で知識や専門性を身につけ、クリスマス会などのイベントで実践力を身につけることができました。どの授業も思いついたのですが、その中でピアノの授業が、私にとって一番大変な授業だったため、印象に残っています。私はピアノを弾いたことがなく、ピアノの授業だけでは検定に合格することは難しかったため、昼休みや放課後、検定が近くなると朝も練習していました。先生は頻りに様子を見て来てくださり、熱心に指導してくださいました。高松南高校の先生は皆とても優しく、受験の際は、担任の先生や教科担当の先生だけではなくそれまで関わりのなかった先生まで私の受験のためにご助力くださいました。

高校生活で得たものは、授業外でもたくさんあります。一番大きなものは、友達です。クラス全員が女子ということで、入学当初はとても不安な気持ちでした。実際、何度かぶつかる事もありました。しかし、そのおかげで強い絆が生まれました。行事の際は一致団結し、皆で楽しむことができました。よく、「高校時代の友達が一生の友達になる」と聞

きますが、その通りだと思います。濃密な時間を共に過ごした仲間たちは、一生の友達となるでしょう。私は今、県外で暮らしていますが、長期休業になると香川に帰り、高校で出会った友達と遊びます。これから先もそうであるといいな、と思います。「素敵な出会いがあった」という意味でも、南高校に感謝しています。

まだまだ勉強中で、学ぶことはたくさんあります。現在通っている大学は、地域の方との関わりが多い大学です。私が目指す保育は、家族や地域と連携がとれ、たくさんの方が子どもを見守れる環境にある、というもので、自分に合った大学に通えていると感じています。現在は2年生で、まだ教育実習はないので、ボランティア活動をし積極的に学んでいます。私は勉強が苦手なので入試問題を解き直すなど、今から採用試験対策をしています。夢を実現するために日々努力しています。校訓の「今日あるを感謝し、最善を尽くして日々に進むべし」を心に抱き、頑張ります。

南高校に在学していた三年間で、たくさんものを得て、成長できました。たくさんの方の先生方にお世話になりました。今日の私が在ることを感謝しています。大学で4年を経て、成長した姿で良い報告をしに伺えるよう努めます。

平成二十八年度 主な部活動成績

《ソフトボール部(女子)》

○県総体 優勝

(四国・全国大会出場)

○県新人 優勝(全国大会出場)

《剣道部(男子)》

○県総体 団体 3位

(四国大会出場)

○県総体 個人準優勝

(四国・全国大会出場)

《剣道部(女子)》

○県総体 個人ベスト8

(四国大会出場)

○県選抜 団体 準優勝

(四国大会出場)



《相撲部》

○県総体 団体 優勝

個人 優勝

(四国・全国大会出場)

○国民体育大会出場

○県選手権 団体 優勝

個人 優勝

○県新人戦 団体 優勝

個人 優勝

《バレーボール部》

○県総体 優勝

(四国・全国大会出場)

○県選手権 優勝(全国大会出場)

○県新人 優勝(四国大会出場)



《ハンドボール部(男子)》

○県新人 4位

○県選抜 2位

《ハンドボール部(女子)》

○県総体 3位 (四国大会出場)

《テニス部》

○県新人戦 団体ベスト4

○全日本ジュニア ダブルス3位

(四国大会出場)

《バスケットボール部(女子)》

○県新人 4位



《水球部》

○県総体 優勝

(四国大会優勝・全国大会出場)

○県新人 優勝



《サッカー部》

○県総体 ベスト8

○県選手権 ベスト8

○県新人 ベスト8

《書道部》

○全国高校書道展 特選

○国際高校生選抜書展 入選

《写真部》

○県総文祭展覧会写真展 奨励賞

《吹奏楽部》

○全日本吹奏楽コンクール

香川県大会 金賞

《環境科学部》

○日本学校農業クラブ

農業鑑定競技会 全国大会 優秀賞

コンクリート甲子園 3位

《美術部》

○県総文祭展覧会立体部門 優秀賞

高松南高等学校吹奏楽部
第38回定期演奏会

指揮 石原 修
福家 彰
大栗 藍加

演奏曲目
・タンゴ セレブレーション (遠藤知弘)
・組曲「トニーランド」より
・Gブロッターニ
・コンラート・リンドとジャズアンサンブルの
ためのラフソディ (P.ウィリアムズ)
(ゲスト) 矢野順太郎 (ドラム奏者)

日時 2017年8月17日(木)
開演 18:00 (開演 18:30)
会場 サンポートホール高松 大ホール

高松南高等学校吹奏楽部 第38回定期演奏会
日時 2017年8月17日(木)
開演 18:00 (開演 18:30)
会場 サンポートホール高松 大ホール
主催 高松南高等学校吹奏楽部 後援 高松市教育委員会 入場無料

平成29年度

南 高 祭

『FULL POWER』

9月9日(土)
9:30~15:00
(終日一般公開)

バザー、野外展示、教室展示、ステージ発表、看護科展、環境科学科展、生活デザイン科展、福祉科展、環境科学科園芸コース即売、家政科服飾コースコスチュームショー等

理事・松本氏 叙勲



五月春の叙勲で香友会理事の松本康範さんが旭日小綬章を受けられました(地方自治功労により)。

松本さんは昭和四十一年普通科卒で在学中は生徒会長を務めました。リーダーシップに優れ、全校生徒をまとめ上げて生徒による自治体制を作り上げました。卒業後は大望を胸に上京し、渡辺美智雄代議士の事務所まで政治学を学びました。その後、香川県に帰郷して県議会議員を5期(二十年)、第八十代香川県議会議員、全国都道府県議会議長会副会長などを歴任され、県民と県政のパイプ役として活躍されました。県議会議員引退後は一宮地区連合自治会会長を務めるなど、長い間県政や地域活動に貢献してこられました。

また香友会においても理事として、百周年記念事業やヒマラヤ杉の移設、また現在行われている校舎全面改築工事などにもご尽力いただくななど大変お世話になっています。

「十月四日に行う予定の祝賀会で

は、お世話になった方々に楽しんでもらうためにも、歌手を(五月みどりさん)お呼びして本格的な歌謡ショーを催したいと思っています。」
「財産は人脈」の信念通り、常に相手のことを考えるお人柄がうかがえます。松本さんが叙勲をお受けになったことは香友会にとっても大変うれしいことであり、心よりお喜びいたします。

松本さんより

「この度叙勲をいただいたのも、みなさまのご指導、ご鞭撻の賜であると深く感謝しております。今後感謝の気持ちを忘れず、県政、母校などの発展のために尽力していきたいと思っております。」

校舎改築工事について

平成二十六年より始まった校舎改築工事ですが、第一校舎西側が完成し、進路指導室や図書室などの各施設、環境科学科と看護科、また普通科の一部がホームルームとして使用しています。各フロアとも吹き抜けを挟んで対面構造となっています。2Fにはテラスがあり、花や野菜の苗なども植えられています。また各フロアには一昨年移設しなかった方のヒマラヤ杉を加工した年輪モニュ

メントの展示や机・イスも設置しており、生徒たちが活用しています。第二期工事は9月頃から始まり、第一校舎東側を建設の予定です。



お詫び

前号の香友会だよりで「全国大会出場についての募金活動」協力者のみなさんのご芳名を掲載いたしました。が、お名前が漏れていたとの指摘をいただきました。大変申し訳なく存じ、お詫びして掲載させていただきます。

松本 有花(平12)

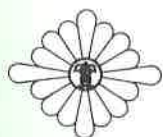
お悔み

香友会顧問の廣瀬和孝様が平成二十八年八月八日、永眠されました。(享年八十三)

廣瀬様は昭和二十七年に本校を卒業されました。歴史の教員として公立高校に勤務され、普通科第一高校校長でご退職されました。退職後は地域史の研究に没頭され、多くの地域史誌(紙)に執筆をされるとともに香川県文化財保護協会副会長を務められました。

本校在職時には香友会事務局長としてご活躍され、またその後は理事として会の礎を築くとともに後年は顧問として会を見守っていただきました。百周年の際には「百年史」の編集に多大なご尽力をいただくと同時に、通史の執筆もしていただきました。

何事にも筋目を通し、矍鑠とされておられ、そして常に優しい目で私たちを見てくださいました。人望が厚く、「廣瀬先生にまっすぐ相談を」と誰もが頼りにする存在でした。廣瀬先生の香友会へのご功績はとて語りつくすことができません、先生を失った痛手は計り知れませんが、残された私たちが先生のご遺志を継ぎ、香友会を発展させていかななくてはならないと思っております。心よりご冥福をお祈りいたします。



平成29年度香友会評議員会及び 総会の開催について(ご案内)

向暑の候、会員各位におかれましては益々ご健勝にてご活躍のことと、お慶び申し上げます。
さて、例年のとおり、同窓会(香友会)の通常総会を下記日程にて開催いたしますので、友人、知人、お誘い合わせの上で出席くださるようご案内申し上げます。

1. 日 時 平成29年8月6日(日) 10:00～

2. 場 所 評議員会・総会 田村神社会館
懇親会 田村神社会館

3. 日 程 9:30～10:00 受付
10:00～11:00 評議員会・総会
11:00～ 懇親会

4. 議 事 ① 平成28年度事業報告並びに会計決算報告
② 平成29年度事業計画案並びに会計予算案
③ その他

- 恐れ入りますが、準備の都合上、ご出席の有無を7月26日(水)までに、電話、ファックス等で事務局までご連絡下さい。
- 懇親会の会費(4,000円)は、当日徴収させていただきます。

香川県立高松南高等学校香友会事務局

亀田 直樹

TEL (087)885-1131 FAX (087)885-1133

切り取り線

FAX送付書(高松南高等学校 FAX番号087-885-1133)

香川県立高松南高等学校香友会事務局宛

平成29年 月 日

送信者ご芳名

ご 住 所

T E L

平成29年度香友会総会(8月6日)

() 出席します

() 欠席します

・その他連絡事項